

令和元年度活動報告(全体活動)

- (1)平成31年度定時役員会(総会)
平成31年4月20日(日)開催。25名出席。
(役員14名(欠席3名)、非議決権者4名出席。)
(2)会議開催
①定時役員会:1回/年。
役員会:5回/年。計139名参加。
五役会:8回/年、40名参加。
広報委員会:10回/年。35名参加。
経理委員会:4回/年、8名参加。
ゆずり葉まつりなど活動支援会議(コミュニティ連絡会議):3回/年、91名参加。
②福祉ネットワーク会議:令和元年10月6日(日)開催。出席20団体で代表者40名参加。
③宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」が年11回開催され、会長が出席。前項の会議の内、「まちづくり計画」のテーマで令和元年10月9日(水)に開催された「まちづくり協議会代表者交流会情報共有会議ワークショップ」に会長、事務局長が出席。
④「地域」とのまちづくり計画見直し

平成31年度会計決算報告 (単位:円)

Table with financial data including income and expenditure sections. Columns include department, budget, actual, and description.

は、前年度に引き続いて「OM環境計画研究所」からの支援を受け、「まちづくり計画進捗状況チェックシート」「地域カルテ」との整合性を図り、全住民との意見集約を以って原案を決定。
②地域住民の「居場所づくり」の試みとして、逆瀬台デイサービスセンターが2019年10月15日(火)に第1回「ナイトサロン」を実施。まず逆瀬台地域(戸建て)の方々を対象に約25名参加。
(第2回は、令和2年3月10日に青葉台地域の方々対象に実施予定だったが、コロナウイルスのため延期。)
青葉台地域では、令和元年10月から外出介助活動を始めることができるようになり、10月1日(火)「NPO法人生活支援の会あいかつ」外出介助事業開始の出発式が行われた。そして、今年3月までの半年の実績は75件であり、今後は、この事業がゆずり葉コミュニティの他の自治会にも広がるよう活動していく予定。
④「ゆずり葉まつり」令和元年10月19日(土)に開催し子どもたちが企画・運営し家庭・地域・学校が協働して取り組んだ。「お神輿わっしょい」「神大ジャグリング部による演技」「ゲーム」「食品の販売」などで盛り上がり、楽しい時間を過ごした。

事務局の活動

- 広報委員
①広報紙「ゆずり葉だより」を年4回、B4版4面、カラー印刷で発行した。またブログを活用し情報公開に努めた。平成29年4月から宝塚市まち協のポータルサイトの運用を開始されたのまち協の情報も共有できるようにした。
②広報紙の配付
年度当初に1年間の配付日時を設定し、12自治会と2マンション管理組合に、全戸配付した。また、外部には、行政関係、小・中・高の各学校、エデンの園、せいらい逆瀬台デイサービスセンター等に配布した。また、宝塚市立中央図書館・資料室に創刊号から毎号持参し永久保存されている。

書記委員

議事録は詳細に記録して会長に届け、次回役員会で全員に配付した。議事録は、ブログに掲載して永久保存されている。

経理委員

支払の請求があれば、出納は書類を確認して迅速・正確に行なった。補助金の申請と報告書は、行政マニュアルに従って、説明責任が果たせるよう作成・提出した。

施設委員

活動拠点「ゆずり葉コミュニティルーム」の利用状況は、延べ467時間/年となり前年度比9%増であった。午前中の利用は、比較的ゆとりがあるので有効活用を図っていく。

活動支援局の活動

(1)地域交流事業

- ①6マンション自治会と2マンション管理組合で構成する「白瀬川両岸集合住宅協議会」は、奇数月に代議員が集まり情報交換会議を行なった。
②シネマシアター上映会では、映画を通して親睦を図った。
③自治会や老人クラブ、福祉活動委員会等が、桜祭り、夜桜の集い、盆踊り大会、夏祭り、納涼花火会、文化祭、音楽会、展覧会、絵画展、お茶会、収穫祭など活発な事業を行ない、住民の親睦、連帯意識の醸成と文化の高いまちづくりを進めた。
④地域における支え合い、見守り支援の仕組み作りを行なった。講師を招き、防災学習会、見守りワークショップを開催。

(2)子どもの健全育成・三世交代事業

- ①子ども・親・高齢者の異世代ふれあいを通して連帯意識を培うべく、小学生入学・卒業の歓送迎会、クリスマス会、里山ハイキング&バーベキュー、芋ほり、遊ぼう会など野外で三世代のふれあい事業を実施。
②子どもたちを対象に大型紙芝居・人形劇や秋の文化祭・児童コーラス、夏休み学習会・基礎英語会話学習、ソロバンの指導などを行ない、健全育成を図った。
③子どもたちが、歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する心を育み、豊かな人生を涵養するため、平成17年度から文化庁の支援を受け、毎月「伝統文化いけばな子ども教室」の活動を展開している。新設された宝塚市立中央公民館に一部活動拠点を移し、小学生、中学生と高校生までが広域で参加している。

(3)防災・防犯推進事業

当校区の高齢化率は45%であるのに対し、介護認定率は17%と低く、健康長寿を誇っている。安全で快適なまちづくりに住民の自主的な防災、防犯意識の高揚と運動を展開した。また、育成会児童の見守り同伴下校のボランティア活動への参加の呼びかけを実施し、併せて宝塚市国際交流協会と宝塚ベトナム友好協会を通じて児童同士の絵画交流を行ない国際的な文化活動の一端を担う役割を果たした。
また、児童の登下校時に合わせての、散歩や植木の手入れなど、児童を見守る活動を行なった。

(4)環境美化推進事業

①「まちをきれいに」を合言葉に公園や川のクリーンハイキングや清掃活動「花と緑の会」の活動を行なって自然を保護し、ミヤマアカネトンボやホタルを育て、その鑑賞用道路を整備した。

(5)ゆずり葉散策路整備事業

①平成21年から始まった整備事業を継続した。裏山の豊かな自然を活かした身近な場所に四季折々の花と緑があり、高齢者・子どもたち家族揃ってできる健康づくりのための散策路の整備を行ない、裏山の自然を観察しながらの健康ハイキングができるコースを開拓して、そのルート整備を行なった。
②「ゆずり葉散策路西逆瀬台口」の出入口を駐車場持主が封鎖した。その対策を「地域」とのまちづくり計画」に取り入れ解決を図って行く。
③行者山東観峰登頂ハイキングを毎週日曜日の午前に実施した。

(6)健康・福祉ネットワーク事業

- ①令和元年10月6日(日)、福祉ネットワーク会議を開催し、地域福祉推進計画の実行を図った。
②住み慣れた地域での健康と安心を目指すし、健やかでやすらぎに満ちた暮らしと生涯にわたる健康づくりを推進した。ハイキング、卓球、太極拳、健康リズム体操、ゲートボール、グラウンド・ゴルフなどと健康教養講座・健康教室の出席講座などを活用に行なった。
③高齢者の見守りやひきこもり予防の介護予防事業として、敬老の日のお祝い訪問、高齢者相互の絆づくりを目指す食事会、ふれあいサロンを域内で14箇所設置して、健康カラオケサロン、歌唱クラブ、ウクレレの会、手芸サークル、マジシャン同好会などを実施して健康づくり・福祉ネットワーク事業を活性化させた。

(7)エイジフレンドリーシティに向けて地域活動活性化への取り組み

超高齢化が進み、急坂の多い当地区は、あらゆる世代にやさしいまちである理念のもと「お互いさまがふれるまち」づくりを目指して、地域の公園、花壇、裏山についてロードマップを完成させ活用を図り実践活動を行なった。また高等学校やエデンの園との文化活動に参加した。



宝塚市補助金 第5条4号
①逆瀬台文化祭 140,000
③逆瀬台桜まつり 30,000
(合計) 170,000
社協福祉C支援事業助成金
①光ガ丘クラブ福祉活動費 120,000
②サロンド逆瀬台他 30,000
③午後のふれあいサロンひまわり 10,000
④ふれあいサロンアヴェルデ 10,000
⑤なごみサロン 3,000
(合計) 173,000
(なごみサロンには、他に市の補助金(1)7,000が出ています。)

令和2年度の事業計画および会計予算については、令和元年度の実績とほぼ同様のため紙面の都合により省略しました。